

みしま

お父さん、お母さん、
先生、ありがとう。
元気に小学校に行きます。

主な内容

P2 平成20年度
町の予算

P4 町の主な重点施策

P6 三島町生活工芸品展
全国編み組工芸品展

P10 三島町行政組織

P12 町の話題

P16 連載「三島人」

2008
4

広報みしま No.181

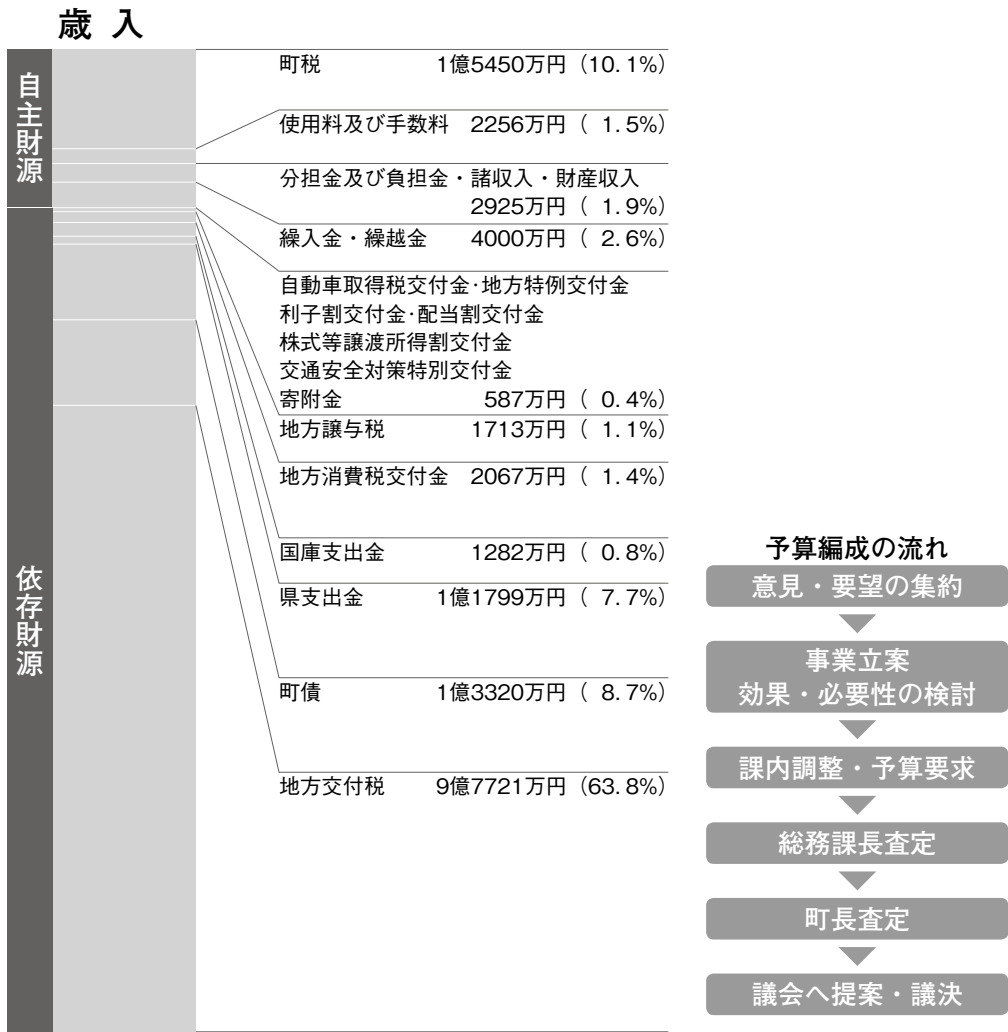


Photo/三島保育所満了式（3月27日）

歳出を抑えながら
優先すべき事業に予算配分

一般会計 15 億 3120 万円

前年度比 3.3%減



町の予算は、国からの地方交付税や、町民の皆さんからの大切な税金で成り立っています。平成二十年度の一般会計及び八つの特別会計の当初予算が、三月の議会定例会で議決されました。その概要をお知らせします。

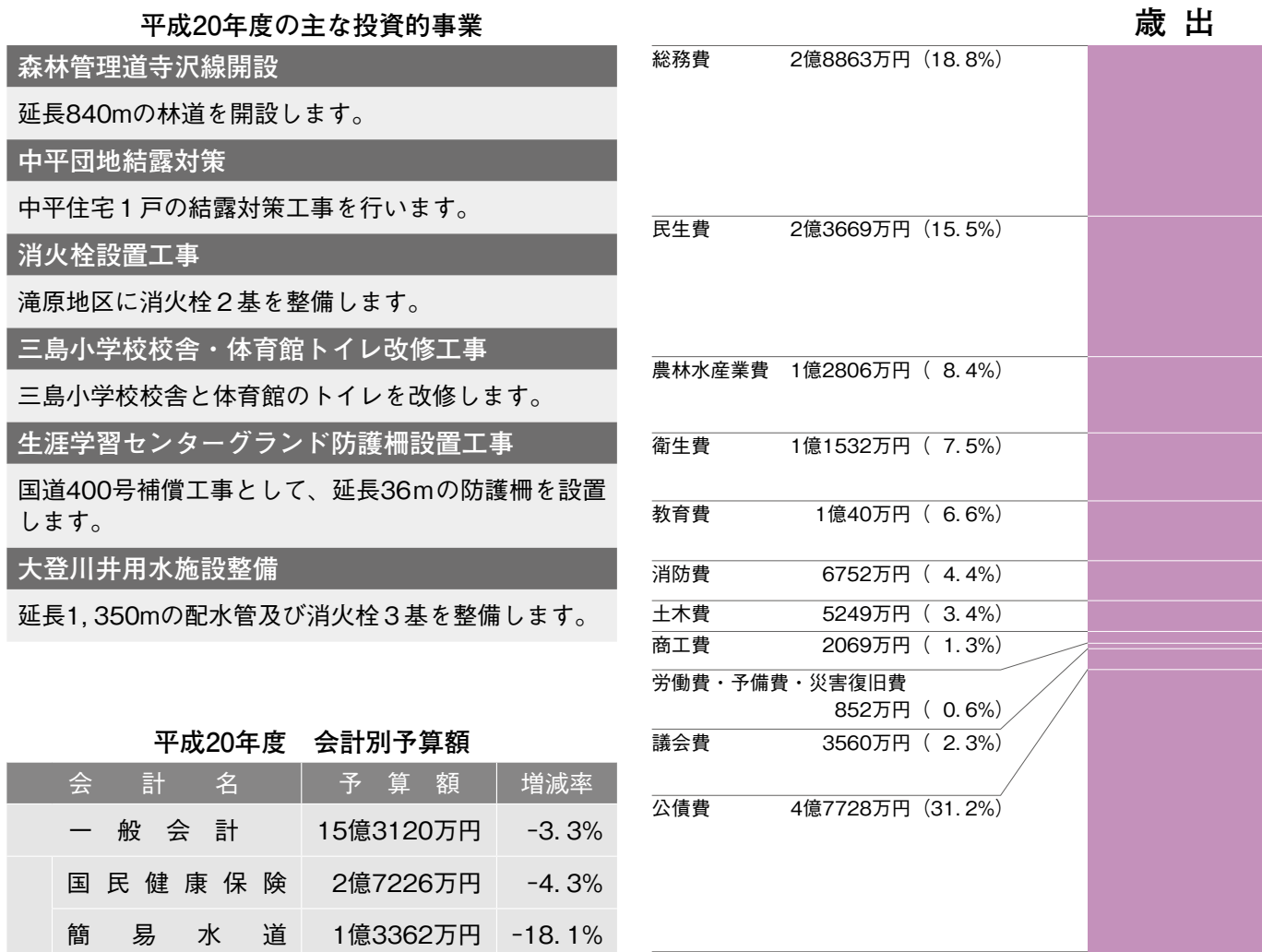
生活基盤の整備や
起業支援・健康づくり等を
重点的に推進します

平成二十年度の予算編成にあたっては、財源不足を十分認識し、歳出を極力抑えながらも、優先すべき事業に重点的に予算を配分しました。水道や消防設備等の生活基盤の整備のほか、行財政改革アンケートの回答で最も多かった「働く場の確保」のために、会津桐・会津地鶏・生活工芸、あるいは民俗行事や食文化などの地域資源を活かした起業支援、雇用創出、観光事業等に力を入れます。また、メタボリックシンドロームの予防・改善等の健康づくりを積極的に推進します。

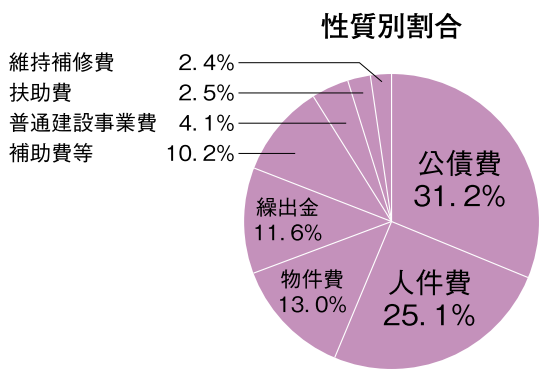
二名減により、合わせて三千二百万円の削減を行います。補助費等では、補助金制度審議会の答申により、各種団体に對する補助金を5%引き下げ、五十五万円の削減を行います。

町の貯金を増やし
町の借金を減らすことに
努めています

町の財政は、国の三位一体の改革により大幅な財源不足が生じ、基金（町の貯金）を取り崩して対処してきました。平成十三年度末に四億二千万円あった基金残高は、平成十八年度末には二億二千万円まで減少しましたが、経費の節減に努めたことにより、平成十九年度の地方交付税が伸び、一億円以上の積み立てができたので、基金残高は三億円を超える見込みです。一方、地方債（町の借金）



平成20年度		会計別予算額	
会 計 名		予 算 額	増減率
一 般 会 計		15億3120万円	-3.3%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	2億7226万円	-4.3%
	簡 易 水 道	1億3362万円	-18.1%
	路 線 バ ス	2063万円	4.4%
	老 人 保 健	3280万円	-92.1%
	農 業 集 落 排 水	3563万円	0.5%
	介 護 保 険	2億4932万円	4.2%
	戸別合併処理浄化槽	2717万円	-34.6%
	後 期 高 齢 者 医 療	3705万円	(新設)
合 計		23億3968万円	-15.9%



の残高は、平成十八年度末、一般会計と特別会計の合計で約四十億円となっています。今年度は、「繰上償還借換債」五千二百万円借りて、利率の高い長期債の返済に充てます。これにより、公債費は四億七千七百万円と一時的に高くなりますが、利息分千三百八十万円の得策となり、来年度以降の公債費は緩やかに減少する見込みです。

町の財政運営は、住民サービスの維持向上を図りながら、万一の緊急事態にも対応できるものでなければなりません。そのために、今後も「貯金」を増やし、「借金」を減らすことに努め、バランスのとれた財政の構築を目指します。

後期高齢者医療
特別会計の新設

特別会計では、この四月から始まった「後期高齢者医療制度」に伴い、後期高齢者医療特別会計が新設されました。これにより、七十五歳以上の方（一定の障害のある六十五〜七十四歳の方）を対象として、保険料の徴収や窓口業務を行います。

子育てを応援します《町営バス料金のお知らせ》 保育所児・小学生・中学生・高校生は 1人月額600円となりました

今年度より、子育て支援事業の一環として、保育所児・小学生・中学生・高校生の通所・通学等に町営バスを利用する場合、1人月額600円で利用できるようになりました。まだ町営バス定期券の検認がお済みでない方、新規に購入される方は、役場窓口にお越しください。



【例】西方地区のお宅で、小学生2人が利用している場合（月額）

平成19年度
定期券3,800円 + 補助券600円 計4,400円
↓
平成20年度
2人×600円 計1,200円

※差額分の3,200円は、町が直接路線バス会計へ補填することになります。

※ただし、次の例のように、大人も利用している場合は、これまでと同様の扱いとなり料金の変動はありません。

【例】西方地区のお宅で、大人1人、小学生2人、計3人が利用している場合（月額）

平成19年度
定期券3,800円 + 補助券1,200円 計5,000円
↓
平成20年度
定期券3,800円 + 補助券1,200円 計5,000円
(大人1人分) (小学生2人分) (変動なし)

☎ 役場 町民課 町民生活係 TEL 48-5555

産業建設課

日本一の桐の里「桐源郷」づくり

桐の景観整備・高付加価値化、カタクリ、オオヤマザクラ等の山林資源の有効活用により、交流人口の増加を図り、経済の活性化を目指します。

地域の伝統とつながりのある観光の推進

町民の皆さんが継承してきた「サイの神」などの伝統行事や、農を中心とした暮らしを、「地域の宝」として観光につなげ、既存の観光施設やイベントを活用し、町民の皆さんが主体のコミュニティビジネスへの取り組みを目指します。

安全安心な農林産物の生産販売支援

安全安心な農林産物の生産体制と、直売所や山菜加工場等の販売体制を確立し、生産者と販売者の連携により、所得向上を支援します。

木質バイオマスの利活用

環境に優しい木質バイオマスの利活用の調査研究を進め、山に雇用が生まれる仕組みづくりを目指します。また、山林を価値ある財産として次世代へ引き継げるよう、森林環境の整備を進めます。

総務課

防災訓練

災害時における町民の安全確保と被害の軽減を図ると共に、危機管理意識の高揚と各行政機関及び各種団体との情報連絡体制を確立するために、防災訓練を実施します（2年に1回実施）。



防災訓練

住民主体の町づくりの推進

町民の皆さんの創意を町づくりに反映させるため、町民ひろばや地区座談会の開催方法を工夫して、多くの町民が気軽に参加できる場を作り、住民主体の町づくりの実現を目指します。



町民ひろば

町の主な重点施策

教育委員会

地域教育力の充実（保育所・小学校・中学校）

小規模校だからこそできること、できないことを整理し、地域教育力の充実を図るため、保育所・小中学校の連携と、公民館の図書の実施を図ります。

生活工芸運動の推進（生活工芸館）

「車座になって楽しくものを作る」という生活工芸の原点に返り、「楽しみ・生きがい」と「地場産業」の両面から持続的な活性化を目指します。



ふるさと会津工人まつり

文化財利活用検討会議

文化財の保存・継承・活用による地域の活性化を図るため、文化財利活用検討会議を立ち上げ、関係機関と連携して検討していきます。



国指定重要無形民俗文化財
「三島のサイの神」

町民課

健康づくり運動の推進

新しく始まる「特定健診・特定保健指導」により、メタボリックシンドロームの予防・改善を進め、一人一人の健康づくりと、各種団体や地域が一つになって取り組む健康づくり事業を支援します。



スッキリサラサラ教室

子育て支援事業

小学生・中学生の医療費を無料とする「子育て支援医療費助成事業」や、保育所児・小学生・中学生・高校生の通所・通学の町営バス料金を月額600円とするなど、子育て世帯の経済的負担を軽減し、児童生徒の健全な成長を願って支援します。また、核家族化や社会変化からくる子育ての不安に対する相談業務の充実を図ります。



町営バスで通学する小学生

町民の代表を決める大事な選挙です

三島町議会議員 一般選挙

投票日
4月20日(日)

任期満了に伴う三島町議会議員一般選挙は、4月15日告示、4月20日投票で行われます。今回の選挙から、議員定数が2名減の8名となります。投票日に都合が悪い方は、期日前投票ができます。棄権しないで投票しましょう。

期日前投票

- 期 間 4月16日(水)～4月19日(土)
- 時 間 午前8時30分～午後8時
- 場 所 町民センター

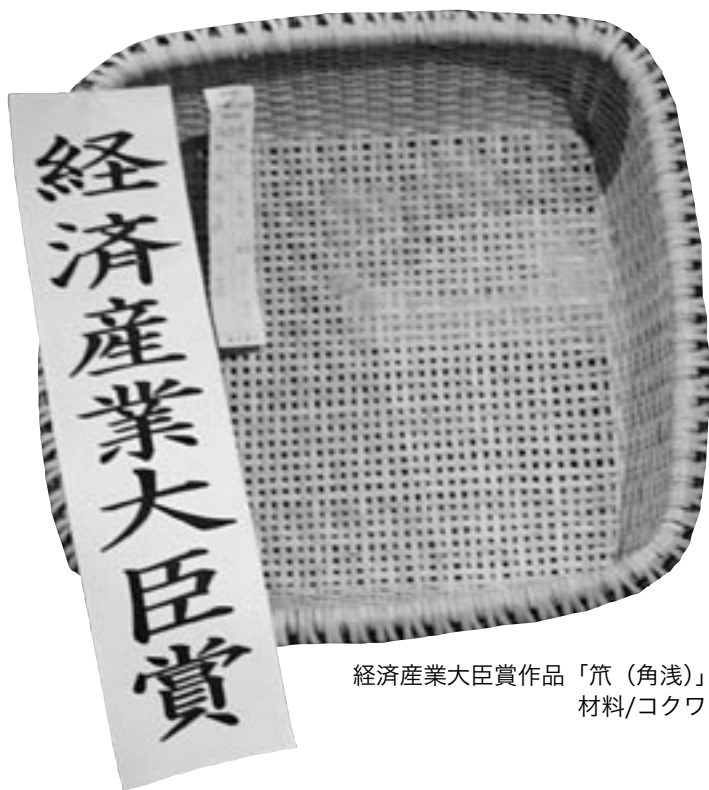
☎ 三島町選挙管理委員会 TEL 48-5511

渡部重記さん 任期満了により副町長を退任

渡部重記さんは、町役場職員から、三島町収入役、三島町助役、三島町副町長を務めてこられ、3月31日、任期満了により退任されました。渡部さんは退任式のあいさつで、昭和37年の役場奉職から46年間の思い出を語り、最後に「職員の数は少ないですが、英知を結集してがんばってください。」と後輩の職員たちに話されました。行政のあらゆる分野に精通し、職員を指導してこられた副町長さん、本当にありがとうございました。



副町長を退任された渡部重記さん



経済産業大臣賞作品「笊（角浅）」
材料/コクワ

経済産業大臣賞に佐藤平喜さん

第七回全国編み組工芸品展は、三月十五（二十三日、交流センター山びこで開催されました。奥会津三島編組品振興協議会の主催。三島町の共催。経済産業省・林野庁・福島県・（財）伝統的工芸品産業振興協会などの後援。町民の皆さんはもちろん、北は青森、南は熊本、十六府県の八十八名の方々から、竹・アケビ・蔓・山ブドウ・蔓皮・イタヤカエデ等の編み組工芸品、四百七十九点が展示されました。宮崎清先生や笠原勝さん（株）たぐみ取締役営業部長）などによる審査の結果、最高賞の経済産業大臣賞には、佐藤平喜さん（昭和村）の「笊（角浅）」が選ばれました。

当日は、開場前に行列ができるほど多くの工芸愛好者が訪れ、優れた作品が次々に売却されました。駐車場には県内だけでなく首都圏のナンバーの車も多く見られました。全国の編み組工芸品が集まる他に類のない展示会として、また経済産業省も認める質の高い展示会として定着した全国編み組工芸品展。作り



経済産業省伝統的工芸品産業室長 佐藤公一氏より経済産業大臣賞を授与される佐藤平喜さん（昭和村）の代理の兄・庄市さん

第7回 全国編み組工芸品展

第27回 三島町生活工芸品展



齋藤茂樹町長より大賞を授与される青木基重さん（西方）



大賞作品「山菜採り籠」
材料/山ブドウ蔓皮

大賞に青木基重さん

第二十七回三島町生活工芸品展は、三月十五・十六日、生活工芸館で開催され、町民の皆さん百十五人から、七百九十四点の作品が展示されました。山ブドウ蔓皮、ヒロロ、マタタビの蔓など、素材を活かした高い技術の作品が数多く見られました。審査の結果、大賞には青木基重さん（西方）の「山菜採り籠」が選ばれました。青木基重さんは、「工芸館に展示されている百年前の籠を見て、百年使っても丈夫な籠を目指して作りました。これからも、使い手に喜んでもらえるものを作っていきたいと思います。」と話されました。

また、三島町名誉町民の宮崎清先生（前千葉大学副学長、現在は放送大学学習センター所長）が出席され、名誉町民第一号の称号記が贈られました。宮崎先生は、「三島町のものづくりのよさは三つあると思います。一つ目は健康づくり。二つ目は自然とのふれあい。三つ目は出会いや交流です。日本を代表するものづくりと言えば、自動車等の大規

模な産業かもしれませんが、それは技術と設備があればどこでもできることです。三島の皆さんの生活工芸は、ここにしかない歴史・風土の中で継承されてきた、世界に誇れる日本のものづくりなのです。」と話されました。

昭和五十六年に生活工芸運動を提唱してから、今年で二十八。町民が主体となる地域づくりとして、昔から伝わる技術と材料にこだわったものづくりを広め、全町民の一角に近い二百名の方々も運動に関わってきました。現在では編み組細工が地場産品として定着し、コミュニケーションとしての活動も展開されています。その中で、ただの製造販売ではなく、背景にある地域の生活文化・風土、そして使い手への思いやりが込められた、ここにしかないものを作ることが大切ではないでしょうか。

これからの、生活工芸の原点である「車座になつて楽しくものを作る」ということを忘れず、みんなで生活工芸運動を進めていきましょう。



三島の生活工芸について語る三島町名誉町民の宮崎清先生。



三島町生活工芸品展



全国編み組工芸品展

舟木トメ子さんに認定証

「奥会津編み組細工」伝統工芸士

伝統工芸士は、（財）伝統的工芸品産業振興協会が認定するもので、その試験に合格した舟木トメ子さん（間方）に認定証が授与されました。姉の久保田節子さん（間方）も昨年認定されており、伝統工芸士姉妹の誕生です。これで「奥会津編み組細工」の伝統工芸士は6名となりました。



伝統工芸士の認定証を授与される舟木トメ子さん

第7回 全国編み組工芸品展受賞者名簿（敬称略）

賞	作 品 名	主な材料	作 者 名	住 所
経 済 産 業 大 臣 賞	箆（ 角 浅 ）	コ ク ワ	佐 藤 平 喜	昭 和 村
林 野 庁 長 官 賞	玄 関 マ ッ ト	山 ブ ド ウ	斎 藤 クニイ	会津若松市
東 北 経 済 産 業 局 長 賞	背 負 い 籠	イタヤカエデ	滝 澤 美 雪	青 森 県
福 島 県 知 事 賞	整 理 籠	ア ケ ビ	山 本 正 子	猪苗代町
(財)伝統的工芸品産業振興協会長賞	マタタビ四つ目箆	マ タ タ ビ	小 平 廣 市	西 方
三 島 町 長 賞	手 提 籠	山 ブ ド ウ	二 瓶 新 次	名 入
奥会津三島編組品振興協議会長賞	米揚げ箆(小判形)	真 竹	藤 谷 幸 也	熊 本 県
福 島 民 報 社 賞	角 形 手 付 大 籠	ア ケ ビ	佐 藤 聡 明	福 島 市
福 島 民 友 新 聞 社 賞	手 提 籠	山 ブ ド ウ	小 柴 康 彦	名 入
N H K 福 島 放 送 局 賞	花器「積木の成果」	ミツバアケビ	西 谷 喬	大 阪 府
福 島 テ レ ビ 賞	米 揚 げ 箆	マ タ タ ビ	諏 佐 信 平	金 山 町
福 島 中 央 テ レ ビ 賞	手 提 籠	ク ル ミ	野 中 勇	会津美里町
福 島 放 送 賞	ブドウ底裂織バック	山 ブ ド ウ 裂織（柿渋）	竹 内 啓 子 村 本 紀 子	青 森 県
テ レ ビ ユ ー 福 島 賞	小判手付整理籠	真 竹	上 平 福 也	岩 手 県
特 別 賞	一 斗 箕	根 曲 竹	原 山 淑 孝	長 野 県
特 別 賞	伊 達 げ ら	シナ・和紙	斎 藤 信 一	青 森 県
特 別 賞	かるい(背負い籠)	真 竹	飯 干 五 男	宮 崎 県
特 別 賞	波 模 様 手 提 籠	ア ケ ビ	久保田 敏 昭	長 野 県
特 別 賞	かけ編み手提籠	山 ブ ド ウ	栗 原 和 美	埼 玉 県



※全国編み組工芸品展の受賞者と、三島町生活工芸品展の奨励賞までの方々を掲載しました。

受賞者の皆さん、おめでとうございます。

第27回 三島町生活工芸品展受賞者名簿（敬称略）

賞	作 品 名	主な材料	作 者 名	地区
大 賞	山 菜 採 り 籠	山 ブ ド ウ	青 木 基 重	西 方
伝 統 技 術 者 証	手 提 籠	山 ブ ド ウ	小 松 寅一郎	西 方
	箆	マ タ タ ビ	長谷川 一 雄	桑 原
	ス カ リ	ヒ ロ ロ	菅 家 ヒロ子	間 方
優 秀 賞	帯	絹（柿渋染）	馬 場 昭 子	大 登
	手 提 籠	マ タ タ ビ	渡 部 佐治郎	西 方
	手 提 バ ッ ク	ヒ ロ ロ	長 郷 タツエ	間 方
奨 励 賞	ゲ ン ベ	ワ ラ	角 田 優	浅 岐
	財 布	ヒ ロ ロ	鈴 木 みゑ子	桧 原
	箆	マ タ タ ビ	目 黒 良 介	滝 谷
三島町生活工芸運動友の会長賞	手 提 籠	山 ブ ド ウ	二 瓶 譲	大 谷
	手 提 バ ッ ク	ヒ ロ ロ	角 田 米 子	浅 岐
	米 研 ぎ 箆	マ タ タ ビ	鈴 木 センヨ	桧 原
三 島 町 文 化 協 会 長 賞	ス カ リ	ヒ ロ ロ	栗 城 ヒサノ	西 方
三 島 町 観 光 協 会 長 賞	ショルダーバック	ヒ ロ ロ	五十嵐 朝 子	大石田
三 島 町 商 工 会 長 賞	手 提 バ ッ ク	ヒ ロ ロ	板 橋 サガミ	滝 原
日本赤十字社福島県支部長賞	米 研 ぎ 箆	マ タ タ ビ	石 岡 恒 雄	大 登
福島県老人クラブ連合会長賞	ガ マ 草 履	ガ マ	菅 家 ハルイ	間 方
三島町老人クラブ連合会長賞	刺 し 子 布 巾	糸 ・ 布	齋 藤 ミツコ	大 登
三島町社会福祉協議会長賞	手 提 バ ッ ク	ヒ ロ ロ	舟 木 トク子	間 方
福 島 民 報 社 賞	手 提 籠	山 ブ ド ウ	羽 賀 孝 子	滝 谷
福 島 民 友 新 聞 社 賞	抱 え バ ッ ク	山 ブ ド ウ	秦 育 雄	大石田
有限会社マルシェみしま賞	手 提 籠	山 ブ ド ウ	小 堀 千加子	西 方
宮 崎 清 賞	手提籠・バック	山 ブ ド ウ ヒ ロ ロ	武 井 清 二 武 井 トシ子	大 谷
	手 提 籠	山 ブ ド ウ	五十嵐 喜 良	名 入
	手 提 バ ッ ク	ヒ ロ ロ	矢 澤 民 子	清水
	抱 え 小 バ ッ ク	ヒ ロ ロ	秦 愛 子	大石田
	楯 円 箆	マ タ タ ビ	角 田 晴 実	川 井
	米 研 ぎ 箆	マ タ タ ビ	五十嵐 光 栄	滝 谷
	蕎 麦 箆	マ タ タ ビ	目 黒 政 栄	滝 谷
	小 物 入 れ	山 ブ ド ウ	齋 藤 真 弓	大 谷
	米 研 ぎ 箆	マ タ タ ビ	角 田 新 一	大 登
	箆	箆 草	角 田 進	川 井
	雨 蓑	ヒ ロ ロ	飯 塚 綱 雄	大石田
	手 提 籠	ヒ ロ ロ	阿 部 敏 子	桧 原
	手 提 バ ッ ク	ヒ ロ ロ	舟 木 ハナ子	間 方
	抱 え バ ッ ク	山 ブ ド ウ	長 郷 マサ子	間 方
	手 提 バ ッ ク	ヒ ロ ロ	菅 家 アイ子	間 方
	髪 留 め	山 ブ ド ウ	板 橋 久 枝	宮 下

参事・課長補佐を配置 文化観光係を新設

平成20年度 三島町行政組織・事務分担

町 長 齋 藤 茂 樹	総 務 課		
	兼 総 課 括 長 参 事	総 務 係	条 例・規 則・規 程の制定、改 廃・議 会・公 有財 産・契 約・文 書・住 民自治 区・消 防・防 災・ 防 犯・無 線電 波・公 用車 の管 理・運 転・交 通安 全・町 営路 線 バ ス事 業・各 種バ ス運 行業 務・ 人 権擁 護・人 事・給 与・職 員の 福 利厚 生・そ の他、他 の係 に属 さ ない事 項に 関す るこ と。
	鈴 木 隆	係 長 森 田 勝 直 目 黒 義 幸 五十嵐 幸 子 (臨時)細 堀 信 子 (臨時)小 林 有 子 (委 託) 用 務 員 河 越 佐 智 子	
副町長は、昨年度末 の退任後は置くことな く、新たな役職として、 総括参事・参事・課長 補佐を配置しました。	企 画 財 政 係		
		Tel 4 8－5 5 1 5 係 長 鈴 木 庄 蔵 二 瓶 仁 志 北 館 亮	予 算・財 政・企 画調 整・振 興計 画 策 定・進 行管 理・特 別プ ロ ジ ェ ク ト・広 報 広 聴・統 計調 査・地 区の 振 興・支 援・結 婚対 策・自 立計 画・各 課間 の連 絡調 整に 関す るこ と。
産業建設課では、産 業係を廃止し、新たに 「文化観光係」と「農 林係」を設置しました。 また、役場庁舎2階に あった産業建設課を1 階に移し、総務課・町 民課・産業建設課が並 ぶ形となりました。	町 民 課		
	兼 参 課 長 事	町 民 生 活 係	戸 籍・住 民基 本台 帳・外 国 人登 録・諸 証 明 等の 交 付・各 種 受 付 業 務・児 童手 当・町 税（国民 健 康 保 険 税・介 護 保 険 料 を 含 む） の 賦 課・徴 収・納 税 組 合 の 指 導 育 成・土 地・家 屋 台 帳 等 の 整 備・保 管・国民 健 康 保 険・国民 年 金・公 害・廃 棄 物（ゴ ミ）の 処 理・景 観 作 り・自 然 保 護・乳 幼 児 医 療・子 育 て 支 援 医 療 に 関 す るこ と。
	渡 部 繁 信	Tel 4 8－5 5 5 5 Tel 4 8－5 5 2 2 (戸 籍・窓 口) 係 長 秦 和 幸 子 諏 訪 典 子 二 瓶 聡 子 舟 木 孝 治 二 瓶 大 樹	
職員数は、昨年度末 に1名が退職し、今年 度の採用はないため、 1名減の43名となりま した。そのほか、臨時 職員は、役場に4名、 生活工芸館に2名、委 託職員（用務員）が役 場に1名、計7名を雇 用しています。	保 健 福 祉 係		
		Tel 4 8－5 5 6 5 係 長 (兼) 目 黒 政 寿 阿 部 心 く 菅 家 直 人 保 健 師 本 名 光 子 横 倉 三 代 子	健 康 づ くり・少 子 化 対 策・成 人 保 健 対 策・母 子 保 健・福 祉・保 健 指 導・介 護 保 険・介 護 予 防・ 児 童 福 祉（児 童 手 当 を 除 く）・社 会 福 祉・高 齢 者 福 祉・障 が い 者 福 祉・高 齢 者 生 活 福 祉 セ ン ター の 管 理・多 目 的 集 会 施 設 の 管 理・社 会 福 祉 法 人 の 育 成 強 化・ 後 期 高 齢 者 医 療・地 域 包 括 支 援 セ ン ター・特 定 健 康 診 査・特 定 保 健 指 導 に 関 す るこ と。
職員数は、昨年度末 に1名が退職し、今年 度の採用はないため、 1名減の43名となりま した。そのほか、臨時 職員は、役場に4名、 生活工芸館に2名、委 託職員（用務員）が役 場に1名、計7名を雇 用しています。	産 業 建 設 課		
	兼 参 課 長 事	農 林 係	農 業 振 興・林 業 振 興・会 津 桐 振 興・会 津 地 鶏 振 興・畜 産 振 興・ 猟 政・農 地・水 環 境 保 全 向 上 対 策・農 林 水 産 物 処 理 加 工 施 設・ 木 材 加 工 施 設・そば 加 工 施 設・ 食 鳥 処 理 施 設・中 山 間 地 域 直 接 支 払 事 業 に 関 す るこ と。
	五十嵐 政 人	Tel 4 8－5 5 3 3 係 長 小 堀 庄 太 郎 小 松 昭 佐 久 間 淳 (兼) 五十嵐 清 人	
職員数は、昨年度末 に1名が退職し、今年 度の採用はないため、 1名減の43名となりま した。そのほか、臨時 職員は、役場に4名、 生活工芸館に2名、委 託職員（用務員）が役 場に1名、計7名を雇 用しています。	建 設 係		
		Tel 4 8－5 5 6 6 係 長 (兼) 五十嵐 一 夫 小 林 辰 伊 星 保 弘 (臨時) 五十嵐 一 夫	町 道 の 建 設・維 持 管 理・林 道 の 建 設・維 持 管 理・治 山・砂 防・ 河 川・治 水・国 道・県 道・公 共 施 設 の 建 設・建 築 許 可・公 営 住 宅 の 建 設・維 持 管 理・屋 外 広 告 物・簡 易 水 道 の 建 設・維 持 管 理・合 併 処 理 浄 化 槽 に 関 す るこ と。
職 員 数			
一般事務 36名 保 健 師 2名 保 育 士 4名 調 理 師 1名 合 計 43名			
臨時職員 6名 委託職員 1名			

文化観光係 (新設)			文化観光の振興・商工業の振 興・ふるさと運動 (特別町民)・ ふるさと振興公社・情報物産 館・早戸交流拠点施設・美坂高 原・大林公園・農林水産物加工 品等展示販売施設・多目的活動 施設・職業紹介事務・起業促 進・観光協会・グリーンツーリ ズムの推進・物価対策・消費者 行政に関すること。
Tel 4 8－5 5 3 3 係 長 小 柴 謙 板 橋 淳 也 大 竹 重 一 郎			
出 納 室			現金の出納、保管・物品の出納、 保管・現金及び財産の記録、管 理・決算の調整・支出負担行為 の確認に関すること。
会 計 管 理 者 (兼) 出 納 室 長 目 黒 民 一			Tel 4 8－5 5 0 5 (臨時) 金 子 裕 美
議 会			事務局長 小 松 豊 Tel 4 8－5 5 8 8 議会の運営に関すること。
農 業 委 員 会			事務局長 (兼) 五十嵐 政 人 Tel 4 8－5 5 5 6 五十嵐 清 人 農業委員会の運営に関すること。
選 挙 管 理 委 員 会			書記長 (兼) 鈴木 隆 Tel 4 8－5 5 1 1 書記 (兼) 森 田 勝 選挙に関すること。
教 育 委 員 会			教育長 (職務代理者) 矢 澤 源 成
生涯学習課			生涯学習係 Tel 4 8－5 5 9 9 係 長 坂 内 君 子 秦 一 夫 五十嵐 義 展 栗 城 拓 郎 町民センター所長 公民館長 (兼) 矢 澤 源 成
三島保育所			所長 (兼) 矢 澤 源 成 Tel 4 8－5 5 0 1 副所長 渡 部 規 子 保育士 五十嵐 純 子 佐久間 絹 江 大 竹 真理子 調理師 真 田 多 恵 子 保育所の維持管理、運営に關 すること。
生活工芸館			生活工芸館長 交流センター所長 (兼) 角 田 陽 市 Tel 4 8－5 5 0 2 菅 家 藤 一 (臨時) 板 橋 憲 子 (臨時) 目 黒 照 枝 生活工芸館の維持管理、運営・ 生活工芸運動の普及・生活工芸 の研究開発、技術指導・交流セ ンターの維持管理、運営に關 すること。



奥会津の観光と交通シンポジウム

只見川流域5町村の首長が ディスカッション

奥会津の観光と交通シンポジウム

3月20日、金山町の御神楽館で、「奥会津の観光と交通シンポジウム」が開催されました。福島大学、只見川ライン観光協会の主催。シンポジウムでは、福島大学の鈴木浩教授の基調講演が行われ、電源開発による固定資産税や交付金の低減、地域の雇用問題などについて講話されました。その後、福島大学の星野珙二教授をコーディネーターとして、小沼昇 只見町長・長谷川律夫 金山町長・馬場孝允 昭和村長・齋藤茂樹 三島町長・井関庄一 柳津町長がそろってパネルディスカッションが行われました。

小沼只見町長は、「住民の発言・行動の機会を増やし、交流人口を増やすことが大切。」と住民主体の活動の重要性を語りました。

齋藤三島町長は、「5町村再生特区として、いまこそ声を大にする時だ。」と5町村連携による地域の活性化を強調しました。

井関柳津町長は、「これからは住民提案型で地域の商品を作り、行政はそれを支援するかたちで進めるべき。」と話しました。

長谷川金山町長は、「とにかく金がなければ何もできない。金をあるところから持ってくる。そして日本の税制を変え、電源地域にもっと金がくるようにしなければならない。」と強く語りました。

馬場昭和村長は、「大内宿に来る100万人の観光客を奥会津地域にも引き寄せ、周遊型、滞在型の観光を進めてはどうか。」と提案しました。

地域住民にとってはめったにない、5町村の首長がそろって語り合った今回のシンポジウム。最後に、今後も福島大学と協力しながら、5町村の連携を密にしていこうことを確認しました。



重要有形・無形民俗文化財指定証書交付式
(前列左から二人目が長谷川清雄さん)

「三島のサイの神」 国の文化財に正式指定

3月13日、重要有形・無形民俗文化財指定証書交付式が、東京都千代田区の如水会館で行われ、「三島のサイの神」の重要無形民俗文化財指定証書が交付されました。交付式には、渡部重記 副町長と、三島町年中行事保存会の代表として長谷川清雄さん(川井区長)が出席し、青木保 文化庁長官より長谷川清雄さんに指定証書が授与されました。これにより、町民の皆さんが受け継いできた「三島のサイの神」は、正式に国の宝となりました。

げんきに小学校にいくよ 三島保育所満了式



満了児一人一人に満了証書が授与され、お父さんやお母さんに手渡した満了式(三島保育所)

3月27日、三島保育所満了式が行われ、ほし組12名に満了証書が授与されました。また、ばら組10名、はと組11名、もも組3名がそれぞれの組を修了しました。満了児たちが、「ありがとう さようなら」を歌うと、保護者の皆さんはカメラで撮影しながら、我が子の成長に涙ぐんでいました。



卒業式を終え、教室で担任の先生と記念撮影をする卒業生

新たな希望を胸にそれぞれの道へ 18名が三島中学校を卒業

3月13日、三島中学校卒業式が行われました。式では、18名の卒業生が一人ずつ、父母や先生方への感謝やこれからの目標を語り、感極まって目を潤ませる生徒もいました。式を終えて教室に帰ってくると、緊張も解けて一緒に写真を撮るなど、卒業の喜びをわかちあいました。今年の卒業生は、毎日カップ中学校体力づくりコンテストや、声楽アンサンブルコンテストなどで、優秀な成果を見せてくれました。高校へ行っても、三島中で過ごした日々を忘れず、自分の夢に向かって進んでほしいと思います。三島のみんなが、18名の若者たちを応援しています。



三島小学校卒業式

中学校での目標を 卒業生一人一人が語る

13名が三島小学校を卒業

3月21日、三島小学校卒業式が行われました。式では、卒業証書授与の後、卒業生一人一人が、中学校での勉強や部活動での目標、また将来の夢などを語りました。今年は、13名のうち3名が会津若松市などの中学校に進学します。中学校は違っても、高校でまた一緒になれるかもしれません。これからも、三島小を巣立った13名の仲間として、友情を育んでほしいと思います。

みんなで健康づくり《教室・健診の予定》
☎ 役場 町民課 保健福祉係 Tel 48-5565

4ヶ月児健診
4月8日(火)11:15～ 坂下厚生総合病院

足腰げんき教室
○室内運動編
4月9日(水)13:30～ 町民センター
○水中運動編
4月15日(火)13:00～ 町民センター集合
西会津さゆり公園プール

心の健康相談
4月10日(木)13:30～ 福寿草

3歳児健診
4月16日(水)13:00～ 柳津町 銀山荘

からだげんき運動教室
4月22日(火)13:30～ 町民センター

機能訓練会
4月23日(水)13:30～ 福寿草

保健師より

**健康づくり教室への積極的な参加を
お待ちしております**

「足腰げんき教室」や「からだげんき運動教室」は、運動の習慣化を支援するものです。正しい運動は、足腰の痛みの改善や、メタボリックシンドロームの予防・改善に大変重要なことです。町では、これまで以上に力を入れて、一人一人の健康づくりと、地域が一つになって取り組む健康づくり事業を支援していきます。町民の皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

☎ 役場 町民課 保健福祉係 Tel 48-5565

歳時記 萌の会

春隣り光差す部屋眠気さす
商人の来ぬ日の雲や二月尽
名入 小柴 富枝

臘月喜寿を過ぎたるわが余生
春隣り紅濃く見ゆる微笑仏
松原 片山 祐一

これからの行事予定

4月7日(月)
9:00～ 三島小学校入学式 (三島小体育館)
10:30～ 三島中学校入学式 (三島中体育館)

4月10日(木)
9:30～ 心配ごと相談 (福寿草)

4月20日(日)
7:00～ 三島町議会議員一般選挙投票日

4月24日(木)
13:00～ ポリオ経口接種 (町民センター)

4月25日(金)
10:00～ Y Yサークル (町民センター)

4月27日(日)
10:00～ 三島町消防団春季検閲式 (町民運動場)

5月3日(祝)・4日(祝)
13:00～ カタクリサミット (交流センター山びこ)
(4日は、西方 大林ふるさとの山で見学会)

5月3日(祝)～5日(祝)
鬼子母神例大祭 (西方 岩倉山鬼子母神・西隆寺)

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では2月中、犯罪は発生しませんでした。管内において、自宅の軒下などに設置されている灯油タンクから灯油が抜き取られる被害が発生しています。灯油の高騰に伴うもので、今後も発生が予想されます。灯油タンクは、自宅の裏などの死角になる場所に設置されていることが多く、被害にあっても気づかないことが多い状況です。防犯灯で明るくしたり、設置場所を倉庫などの施錠ができる場所にするなどの対策をお願いします。

三島町内街頭犯罪等発生状況 (1～2月)

区 分	管 内	三島町
空き巣ねらい		
忍 込 み		
事 務 所 荒 し		
出 店 荒 し		
自 動 車 盗	1	
オートバイ盗		
自 転 車 盗	1	
自販機ねらい		
車 上 ね ら い	1	
街 頭 犯 罪 計	3	0
全 刑 法 犯	9	0

※全刑法犯には、街頭犯罪以外(器物損壊・傷害・万引き等)の犯罪発生件数が含まれます。

**雪と火のまつり模擬店の売上金を
社会福祉協議会に寄付
東北電力只見川ダム管理所**

只見川ダム管理所の皆さんは、毎年、雪と火のまつりに模擬店を出店し、くじ引きや甘酒、おしるこなどを販売し、その売上金を社会福祉協議会へご寄付くださっています。今年は、同管理所の大津善美所長が3月13日に役場を訪れ、齋藤茂樹町長に寄付金を手渡しました。ありがとうございました。

**ご寄付ありがとうございました
社会福祉協議会へのご寄付**
☎ 遺志によるもの
二 瓶 一 男 様 (西方)

労働保険の年度更新

事業主の皆さんへ

平成20年度の労働保険の年度更新は、4月初めに福島労働局から送付される申告書と記入要領をよくお読みいただき、最寄りの銀行、郵便局、労働基準監督署、または福島労働局において手続きされますようお願いいたします。

申告期限 5月20日

☎ 福島労働局 総務部 労働保険徴収室
Tel 024-536-4607

電話加入権 (利用権) の公売

電話加入権 (利用権) の公売を入札により行います。通常価格の約半額でお求めになれます。見積価格は、公売日の前日までに会津若松合同庁舎前掲示板及びホームページに掲載します。参加を希望される方は、印鑑と代金を持参してお越しください。

○日 時 4月18日(金) 10:00～
5月16日(金) 10:00～

○場 所 福島県会津若松合同庁舎
福島県会津地方振興局
県税部 税務相談室

詳しくは、ホームページを参照してください。
<http://www.pref.fukushima.jp/aizu/shinko/>
☎ 福島県会津地方振興局 県税部
Tel 0242-29-5242

日本語会話教室 Japanese Lesson

いっしょに、にほんごを、まなびませんか?
〈午前コース〉Morning Course
1. 曜日(Day) 水曜日 Wednesday
2. 期間(Dates) 4月16日～7月30日
3. 時間(Time) 10:00～11:30
〈夜間コース〉Evening Course
1. 曜日(Day) 火曜日 Tuesday
2. 期間(Dates) 4月15日～7月29日
3. 時間(Time) 19:00～20:30
◎受講料 全14回3,000円+教科書代
For all classes 3,000yen+Textbook fee
◎場 所 会津坂下町役場 東分庁舎2階 会議室
Aizubange town office
◎申 込 随時受け付けます。
Please apply at any time.
☎ 会津坂下町国際交流協会
Tel 0242-84-2135 (Japanese only)

エイズ相談・HIV抗体検査

下記のとおりエイズ相談・HIV抗体検査を実施します。

○実 施 日 毎週水曜日 9:00～10:30
毎月第1・3火曜日 17:15～20:30

○予約方法 必ず事前に下記へ電話で予約してください。

会津保健所 感染症予防チーム
エイズ相談専用電話 Tel 0242-29-5514

初めての視察調査で衝撃を受けました
必ずこれからの町づくりに活かします

役場若手職員



左から、二瓶 仁志（企画財政係）・二瓶 大樹（町民生活係）・秦 一夫（生涯学習係）
舟木 孝治（町民生活係）・菅家 直人（保健福祉係）・栗城 拓郎（生涯学習係）
大竹重一郎（文化観光係）・五十嵐義展（生涯学習係）・北館 亮（企画財政係）

昨年度、役場の若手職員十
三名が町長の命を受け、三ダ
ループに分かれて、徳島県上
勝町・岩手県遠野市・長野県
下條村の視察調査を実施しま
した。若手職員たちにとって
初めての視察調査。各地の先
進的な独自の町づくりに衝撃
を受け、様々な発見をしてき
ました。二月には職員報告会
を実施し、十三名一人一人が
全職員を前に、それぞれの調
査結果と、三島町の改善点な
どを発表しました。例えば下
條村では、三十四名という非
常に少ない職員で通常の業務
を行っています。また、遠野
市では、NPO法人が地域の
様々な活動をリードする役割
を担い、上勝町では高齢者に
よる「つまもの」のビジネス
が展開されています。
視察調査を実施した職員は
二十八歳～四十歳。行政の実
務の中心的役割を担う者たち
です。それだけに、今回の視
察調査は、「ただ行ってきただ
けでは終わらせたくない。」と
いう思いを強くしています。
すぐに反映できることは少な
いかもしれません。しかし、
必ず今後の行財政に活かし、
町民の皆さんと共に町を元氣
にしていきたいと、決意を新
たにしています。

【お知らせ】

今月号より、原則第1金曜日の発行となりました。人
口と世帯については、編集・印刷にかかる日数の関係で、
前の月の1日現在の数値を掲載していきます。

人口と世帯 3月1日現在（住民基本台帳）

人 口	2,194人 (-12)	人の動き	出生	1人
(男)	1,031人 (-6)		死亡	5人
(女)	1,163人 (-6)		転入	1人
世帯数	873世帯 (-3)		転出	9人

広報 みしま 4月号 No.181

発行日 平成20年4月4日
編 集 三島町役場 総務課 企画財政係
福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350
Tel 0241-48-5515

ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>
印 刷 株式会社アポロ



「広報みしま」は環境にやさしい
大豆インクを使用しています。

みしま 編集後記

平成20年度がスタートしました。役場では、産業建
設課に文化観光係が新設され、地域の文化を活かした
観光事業を推進する体制を強化しました。全国各地で
も、「二地域居住」「都市農村交流」として、地域の自
然・文化を活かした様々な事業が展開され、成功して
いる事例もあります。三島町でも、民俗行事や生活工
芸はもちろん、農山村の暮らしの隠れた魅力に光をあ
て、交流人口の増加による地域の活性化を目指してい
ます。文化観光係はその実務を担い、町民の皆さんが
主体となる事業の支援に力を入れていきます。

今年度は、昨年度より1名減の43名の職員で行政運
営を行います。職員一人一人の意識改革と共に、今ま
で以上にチームワークを大切に、最小の経費で最大
の効果を上げるという基本に返って、町民の皆さんと
共に町づくりを進めていきたいと思っています。皆さんの
ご理解、ご協力をお願いします。